

平成29年度病害虫発生予察注意報第9号

平成29年10月31日
愛 知 県

作物名：キャベツ
病害虫名：キャベツ菌核病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 やや早い（10月下旬以降）
- 3 発生程度 やや多い
- 4 注意報発表の根拠
 - (1) 10月下旬の巡回調査（20ほ場）では、発生ほ場率が20.0%（平年 5.0%、前年 5.0%）、発病株率は 0.3%（平年 0.2%、前年 0.1%）で、過去10年と比較して発生ほ場率は最も高く、発病株率は3番目に高かった。
 - (2) 本年は、10月第1半旬から第5半旬の降水量が多かったため（本年 462.0mm、平年 114.1mm、名古屋地方气象台データ）、本病の感染に好適な条件が続いた。
 - (3) 気象予報によれば、11月の降水量は平年並か多く推移すると予想され、今後も発病株が増加すると考えられる。
- 5 防除対策
 - (1) 発病してからの農薬散布では防除効果が低いので、下表の薬剤を参考に2～3回程度予防的に防除を実施する。
 - (2) 発病株は伝染源となるので、早く抜き取りほ場から出し適切に処分する。
 - (3) ほ場の排水を良くし、過湿状態にならないようにする。

表 キャベツ菌核病に対する主な防除薬剤

薬 剤 名	希釈倍数	使用時期	使用回数	FRACコード
スミレックス水和剤	2000～3000倍	収穫14日前まで	4回以内	2
ベンレート水和剤	2000倍	収穫7日前まで	6回以内	1
アミスター20フロアブル	2000倍	収穫7日前まで	4回以内	11
ロブラール水和剤	1000倍	収穫7日前まで	4回以内	2
カンタスドライフロアブル	1500倍	収穫7日前まで	2回以内	7
シグナムWDG	1500倍	収穫7日前まで	2回以内	11、7
セイビアーフロアブル20	1000倍	収穫3日前まで	3回以内	12
トップジンM水和剤	1000～1500倍	収穫3日前まで	2回以内	1
アフェットフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	7

FRAC コードは殺菌剤の作用機構による分類を示します。

FRAC コードの詳細は、<http://www.jfrac.com/fracコード表/> を御覧ください。

農薬の散布に当たってはラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

- 6 連絡先
農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除グループ
電話：0561-62-0085（内線471）